

JEMIMA会報

CONTENTS

- 計測展2015 TOKYO
- JEMIS 043 接触式表面温度計の性能試験方法 制定のお知らせ
- IEC/TC66 Essen会議参加報告



オートメーションと計測の先端技術が集う SCF 2015 システムコントロールフェア

技術がつながる、未来が拓ける、ものづくりイノベーション



計測展 2015 TOKYO

計測と制御で創る未来の地球

IoT/M2Mで世界を変える

第4次産業革命

約120の先進的な講演会・セミナー受講申込と
スムーズな入場のため事前登録をお願いいたします

展示会・セミナー事前登録受付中

SCF 2015
<http://scf.jp/>



計測展2015 TOKYO
<http://jemima.or.jp/tokyo/>



ご案内

2015年 **12月2日(水)~4日(金)**

東京ビッグサイト西1・2・3・4ホール・アトリウム

開催時間：10:00 ~ 17:00 招待券持参者および事前登録者無料

※当日入場料：一般 1,000 円 学生無料

主催：[SCF2015] JEMA 一般社団法人 日本電機工業会 / NECA 一般社団法人 日本電気制御機器工業会

[計測展 2015 TOKYO] JEMIMA 一般社団法人 日本電気計測器工業会

同時期開催：[2015 国際ロボット展] 相互入場

目 次

2 ●特集：計測展2015 TOKYO

展示会の見どころ、出展者一覧、セミナースケジュール
委員会出展紹介
委員会セミナー

11 ●お知らせ

JEMIS 043 接触式表面温度計の性能試験方法 制定のお知らせ
新入会員

13 ●関西支部トピックス

第139回 関西B・I研修会（見学会・製品説明会）開催報告

14 ●欧州環境規制レポート（第40回）

18 ●委員会活動報告

製品安全・EMC委員会：IEC/TC66活動報告（第6回）
IEC/TC66 Essen会議参加報告
講演会「ミャンマーのビジネス環境上の課題と展望」実施報告
委員会開催録

24 ●刊行物案内

26 ●統計（電気計測器生産統計2015年7月）

●広告掲載会社

計測展2015 TOKYOご案内.....（表2）
計測展2016 OSAKA.....（表3）
計測展2015 TOKYO.....（表4）

本展示会の見どころご紹介

主催者企画 「第4次産業革命—つながる化」

欧米ではグローバル化による製造業の流出やリーマンショックなどにみる金融偏重の反省から、製造業の経済効果を見直す製造業回帰が始まっています。この流れの中に米国のIndustrial Internet(GEが提唱するコンセプト)、ドイツの産業政策(Industrie4.0)があり、進化する情報通信技術を背景にものづくりなどのサービス化を含めた新たな産業改革が注目されています。世界の動向、国の産業政策、ものづくりや生産システムの過去から将来のイメージ、今後の課題および関連展示・カンファレンスなどをご紹介しますコーナーです。

オープンネットワークゾーン

オープンネットワークを使えば、工場稼働するさまざまな機器・装置間でデータ・情報を簡単に、効率よく、そして安定して通信できます。展示会が発信する新たな潮流「第4次産業革命—つながる化」に沿って、オートメーションを進化させる強力なツールとして、最新のオープンネットワーク機器・技術・サービスを集中展示して、ご紹介いたします。また、特設プレゼンテーションステージでは参加各社の最新技術動向を発表します。

海外パビリオン

大使館および貿易促進団体を集めた海外パビリオンを新設。産業を活性化するため、グローバルに「情報を発信、交換、共有する場」を設けます。展示会のご来場に併せて、ぜひ海外パビリオンにお立寄りください。

アトリウムステージ

西ホール中央のアトリウムに、主催者ステージを開設します。会期中の3日間、各界の第一線で活躍するゲストを招き、女性キャスターとの楽しいトークショーを行います。最新のトピックスを取材VTRと解説で、わかりやすく紹介いたします。今回は“つながる”をキーワードに掲げ「IoT/M2Mが実現する未来(あした)の工場～多能工化する、つながるロボット」「IoTは計測技術から～無限につながるセンサ～」[ものづくりの現場で輝く女性～ダイバーシティが実現する、つながる世界～]など、注目テーマが目白押しです。さらに、展示会の情報発信基地として、さまざまなイベントや展示ブースの紹介も行います。ステージの様子は、会場内のモニターでも放映いたします。ただいま、最新トピックスを取材中、どうぞご期待ください。

学生コーナー

全国各地の大学・高専研究室が、オートメーションおよび計測・制御に関する将来の技術・応用技術やものづくりに関するIoT活用技術などの動向について、最先端の研究発表を展示します。特に優れた研究室を表彰し、学生たちの研究を支援します。また、未来の産業界を担う学生を対象に、業界研究セミナー、業界探訪ツアーも実施します。

ハッピーアワー

会期2日目の12月3日(木)16:00～17:00は、ハッピーアワー！参加出展者ブースまたは共同スペースにおいて、お飲み物や軽食を楽しみながら、寛いだ雰囲気の中で商談できるのがハッピーアワーです。12月3日にご来場の際は、ハッピーアワーにもご参加ください。

スタンプラリー毎日開催

参加者の中から抽選で
合計15名様にプレゼント！

話題のウェアラブルウォッチ等の豪華景品の当たるスタンプラリーを今回も実施いたします。事前登録をしてから参加すると、2回抽選することができます。展示会場で一足早いクリスマスプレゼントをゲットしてください。



講演会・セミナーは事前登録制、受講無料、先着順です。
約120の講演会・セミナー受講申込と最新情報は公式サイトから！

SCF公式サイト



SCF

検索

計測展公式サイト



計測展

検索

SCF公式Facebook

「第4次産業革命」をテーマに情報発信中



Facebook 第4次産業革命

検索

お問い合わせ

システム コントロール フェア2015/計測展2015 TOKYO 運営事務局 (日経BP 読者サービスセンター内)

お問合せは公式サイトのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

SCF公式サイト <http://scf.jp/>

計測展公式サイト <http://jemima.or.jp/tokyo/>

・ SCF2015 出展対象品目 ・

- FAコントロールシステム ●機器通信機器・情報伝送機器 ●FA用ソフトウェア・コンフィグ ●自動認識装置・自動検査装置 ●駆動制御装置・アクチュエータ
- センシングシステム・機器 ●制御コンポーネント ●電源装置・機器 ●配電及び分電装置・機器 ●安全制御機器 ●省エネ・新エネ・環境関連機器
- その他関連システム・機器 ●設計・製造ソリューション ●ICT全般 ●IoT/M2M・ワイヤレス・AR ●ビッグデータ活用

SCF2015 出展・協賛者一覧

ARKTAKE INC. アールエスコンポーネンツ 株式会社 IDEC 株式会社 株式会社 アイファ電気商会 旭化成EICソリューションズ 株式会社 アスプローバ 株式会社 アズビル 株式会社 株式会社 アドバンテック アラクサラネットワークス 株式会社 株式会社 アルゴシステム アルファテック 株式会社 株式会社 イマジオム イルメジャパン 株式会社 EtherCAT Technology Group イーブランチソフトウェアアンドサービス 株式会社 Weintek Labs.Inc ウェリントック・ジャパン 株式会社 HMSインダストリアルネットワークス 株式会社 ABB 株式会社 SUS 株式会社 株式会社 エニイワイヤ NKKスイッチズ 株式会社 エフクター 株式会社 株式会社 MHPSコントロールシステムズ 株式会社 エム・システム技研 L S 産電 株式会社 速藤工業 株式会社 大阪自動電機 株式会社 株式会社 オサダ	オムロン 株式会社 オリエンタルモーター 株式会社 オーム電機 株式会社 春日電機 株式会社 河村電器産業 株式会社 関西横乱雲プロジェクト 株式会社 関東エルエンジニアリング 共立継器 株式会社 ケプウェア・ジャパン 株式会社 株式会社 ケーメックス 光洋電子工業 株式会社 国際電業 株式会社 株式会社 コスモテックス 株式会社 木幡計器製作所 コーセントリアルタイムシステムズ 一般社団法人 産業サポート白河 株式会社 サーテック 株式会社 サンミューロン 山洋電気 株式会社 システムメトリックス 株式会社 株式会社 指月電機製作所 シュエアザール日本支社 白河電産 株式会社 CC-Link協会 株式会社 シーズウェア 株式会社 シーティーケー 株式会社 シーティーケーEAST 株式会社 シーティーケーWEST シーメンス・ジャパン株式会社 ジェイティエンジニアリング 株式会社 株式会社 ジェイテクト	シュナイダーエレクトロニクス 株式会社 株式会社 ジョブル スカイネットクラウドシステムズ スズテック 株式会社 スズデン 株式会社 株式会社 ステップテクニカ スリーエムジャパン 株式会社 株式会社 図研 図研エルミック 株式会社 セーフティネットワークジャパン 株式会社 ソルトン 株式会社 たけびし 株式会社 第一エレクトロニクス 大電 株式会社 株式会社 テクノ DEGSON ELECTRONICS CO.,LTD. 株式会社 デジタル デルタ電子 株式会社 東亜無線電機 株式会社 東海ソフト 株式会社 東京電気技術工業 株式会社 株式会社 東芝 東芝産業機器システム 株式会社 東芝ITコントロールシステム 株式会社 東芝シュネデール・インバータ 株式会社 東芝三菱電機産業システム 株式会社 株式会社 東電社 東明テクノロジー 株式会社 東洋技研 株式会社 東洋電機製造 株式会社 ナダ電子 株式会社	株式会社 ニチフ 株式会社 ニック 株式会社 日恵製作所 株式会社 日新システムズ 日鉄住金テックスエッジ 株式会社 日鐵住金溶接工業 株式会社 日東工業 株式会社 日本パルスモーター 株式会社 日本OPC協議会 日本ダイレックス 株式会社 株式会社 日本電商 日本マイクロナソフ 株式会社 ネットワークパートナーズ 株式会社 パルーフ 株式会社 バーチャルエンジニアリングコミュニティ 株式会社 バトライト パナソニック 株式会社 パナソニックデバイスSUNX 株式会社 株式会社 日立製作所 株式会社 日立産機システム 株式会社 日立ハイテクノソリューションズ 日立造船 株式会社 B&R Industrial Automation 株式会社 ビージェンソフト 株式会社 ビルツジャパン 株式会社 株式会社 ビーアンドエフ PLCopen フェニックス・コンタクト 株式会社 株式会社 フォトロン フジコン 株式会社 富士通 株式会社	富士電機 株式会社 株式会社 Puerto profichip GmbH ベッコフオートメーション 株式会社 株式会社 ベルチャイルド 北陽電機 株式会社 本多通信工業 株式会社 マルチ計測器 株式会社 三菱電機 株式会社 三菱電機エンジニアリング 株式会社 三菱電機システムサービス 株式会社 三菱日立パワーシステムズ 株式会社 村田機械 株式会社 株式会社 明電舎 MECHATROLINK協会 株式会社 安川電機 安川シーメンスオートメーション・ ドライブ 株式会社 株式会社 YOODS ラティス・テクノロジー 株式会社 リタール 株式会社 株式会社 リンクス ロックウェルオートメーションジャパン 株式会社 株式会社 ワコム ワゴジャパン 株式会社 渡辺電機工業 株式会社
---	---	--	---	---

・ 計測展2015 TOKYO 出展対象品目 ・

- 指示計器 ●電力需給計器 ●電気測定器 ●電子応用計測器 ●温度計測器 ●環境計測器 ●放射線計測器 ●FA用計測制御機器 ●PA用計測制御機器
- 計測・制御ソリューション ●ICT全般 ●IoT/M2M・ワイヤレス・AR ●ビッグデータ活用

計測展2015 TOKYO 出展・協賛者一覧

ISA100 Wireless Compliance Institute アコー 株式会社 アズビル 株式会社 アナログ・デバイスズ 株式会社 アブリオリ株式会社 アメテック 株式会社 アルファ・エレクトロニクス 株式会社 アンリツ 株式会社 安立計器 株式会社 岩通計測 株式会社 株式会社 イージメジャー エクシダ・ジャパン 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック FDT Group 株式会社 エミッ エムティティ 株式会社 株式会社 エーシック ABB 日本ベレー 株式会社 株式会社 NFテクノマース 大倉電気 株式会社 株式会社 大手技研	株式会社 岡崎製作所 オメガエンジニアリング 関西オートメーション 株式会社 菊水電子工業 株式会社 京西テクノス 株式会社 京都EIC 株式会社 株式会社 共和電業 キーサイト・テクノロジー 合同会社 株式会社 クローネ クーパー・インダストリーズ・ジャパン 株式会社 公益社団法人 計測自動制御学会 KOA 株式会社 産業技術総合研究所 島津システムソリューションズ 株式会社 株式会社 シマデン 新光電機 株式会社 新コスモス電機 株式会社 新日鉄住金ソリューションズ 株式会社 一般社団法人 次世代センサ協議会 GEインテリジェント・プラットフォーム株式会社 GEエナジー・ジャパン株式会社	GEセンシング&インスペクション・ テクノロジーズ 株式会社 GMI ジャパン 株式会社 主催者 (JEMIMA) コーナー JEMIMA IEC TC65 国内対策委員会 JEMIMA エネルギー・低炭素政策委員会 JEMIMA 温度計測委員会 JEMIMA 環境グリーン委員会 JEMIMA 環境計測委員会 JEMIMA 校正事業推進委員会 JEMIMA 製品安全・EMC 委員会 JEMIMA 戦略的基盤技術検討委員会 JEMIMA 電子測定器委員会 JEMIMA PA・FA計測制御委員会 西華産業 株式会社 株式会社 高砂製作所 株式会社 タカチ電機工業 タケモトデンキ 株式会社 株式会社 田中電気研究所 株式会社 チノー 株式会社 テクノエビー	株式会社 千代田エレクトロニクス 電子磁気工業 株式会社 電磁応用技術センター 株式会社 電波新聞社 東亜ディーケーケー 株式会社 東光計器 株式会社 株式会社 東芝 東芝産業機器システム 株式会社 東芝 IT コントロールシステム 株式会社 東芝シュネデール・インバータ 株式会社 東芝三菱電機産業システム 株式会社 東邦電気 株式会社 日本ドレッサー株式会社 二宮電線工業 株式会社 株式会社 日本ファインケム FieldComm Group 株式会社 ノーケン バーチャルエンジニアリングコミュニティ 日置電機 株式会社 株式会社 日立製作所 株式会社 日立産機システム	株式会社 日立ハイテクソリューションズ ヒーマ日本支社 株式会社 ビーアンドエフ PTC ジャパン 株式会社 フェニックス・コンタクト 株式会社 富士電機 株式会社 BRAINCHILD ELECTRONIC CO.,LTD. 株式会社 堀場製作所 株式会社 堀場アドバンスドテクノ 株式会社 堀場エステック メイク 株式会社 山里産業 株式会社 株式会社 ユニティクス ユーアイニクス 株式会社 株式会社 ユー・アール・ディー 横河電機 株式会社 横河ソリューションサービス 株式会社 横河メータ&インスツルメンツ 株式会社 リオン 株式会社 理研計器 株式会社 株式会社 レックス
---	---	---	--	--

オープンネットワークゾーン

eWON 株式会社 HMS インダストリアル ネットワークス 株式会社 ODVA, Inc ガイロジック 株式会社	Sercos アジア日本事務所 softing タグ ジャパン 株式会社 日本 AS-i 協会 株式会社 日本電機研究所	一般社団法人 日本電機工業会 NPO 法人 日本プロフィバス協会 日本モレックス 合同会社 ハーティン ヒルシャー・ジャパン 株式会社	Motionnet 協会 ユニテック 株式会社 ワゴジャパン 株式会社
---	--	---	---

海外パビリオン

DINKLE ENTERPRISE CO., LTD.
FON CHANG ELECTRICAL CORP.
GI FAR TECHNOLOGY CO., LTD.
HIGHLY ELECTRIC CO., LTD.
Korea Electrical Manufacturers' Cooperative
Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association

出版・報道・公共団体

[SCF] インコム オートメーション新聞	[計測展] 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター 電磁応用技術センター 株式会社 電波新聞社 日本工業出版 株式会社 一般財団法人 日本品質保証機構 フロスト&サリバン ジャパン 株式会社
-----------------------------	--

学生コーナー

愛知工業大学 神奈川工科大学 久留米高等専門学校 群馬工業高等専門学校 慶應義塾大学	千葉大学大学院 津山高専専門学校 鶴岡工業高等専門学校 電気通信大学 東京工業大学	長岡技術科学大学 新居浜高等専門学校 三重大学
--	---	-------------------------------

(2015年9月14日現在)

基調講演

【会場】会議棟 レセプションホールB

12月2日(水) 11:00~12:00

現場と経営・社会をつなぐモノづくりの革新 -日立が考える第4次産業革命-

講師

日立製作所
執行役員社長 情報・通信システムグループ長
兼情報・通信システム社社長

齊藤 裕氏

さまざまな現場機器がネットワークにつながり、情報システムと制御システムの連携がますます強まっていきます。本講演では、異種システムからIoTで得られるデータがモノづくりの現場や経営にどのような革新をもたらす、その先の社会にどのような価値を生むのか、日立の最新の取り組みを交え述べます。



特別講演

【会場】会議棟 101会議室 / 会議棟 レセプションホールB

12月2日(水) 11:00~12:00

101会議室

政府のサイバーセキュリティ戦略について

講師

内閣官房
内閣サイバーセキュリティセンター
内閣参事官

藤田 清太郎氏



企業や個人の活動領域がサイバー空間に広がる中、IoT機器から制御系機器までサイバー攻撃の脅威も拡散しています。政府では、サイバーセキュリティ基本法に基づく新戦略の策定を始め重要インフラ事業者との情報共有や連携等の取組を強化しています。政府における政策の総合調整を行う内閣サイバーセキュリティセンターの視点から、最新の取組状況や今後の方向性について紹介します。

12月3日(木) 11:00~12:00

レセプションホールB

日本型ものづくり第4次産業革命 ～日本産業復活のカギはIoT～

講師

東京大学大学院経済学研究科
ものづくり経営研究センター
特任研究員

吉川 良三氏



日本が再び世界で輝きを取り戻すためには今までと異なった視点で新しいビジネスを産み出すことです。「少子高齢化」、「地方の活性化」、「女性の活用」などの問題はビジネスチャンスです。「衣・食・住居」から「医・介護・職・住民」へこのIoTのコンセプトが日本の明るい未来を作る切り札になると考えています。

12月4日(金) 11:00~12:00

レセプションホールB

「GEのインダストリアル・インターネット戦略」

講師

日本GE
専務執行役員

田中 豊人氏



GEが提唱をしている「インダストリアル・インターネット」とは何か、また、製造業であるGEが今、ソフトウェア事業に注力しようとしている背景や全体戦略、海外事例、また、日本での取り組みについてご説明します。

特別セッション

【会場】会議棟 レセプションホールB

12月3日(木) 14:30~16:00

第4次産業革命で工場が変わる、社会が変わる

【ご登壇者】

ドイツのIndustrie4.0や米国のIndustrial Internetなどの、いわゆる「第4次産業革命」と称される「ものづくりの大きな変化」が起こりつつあります。従来のものづくりと何が違うのでしょうか？我々の社会はどう変わるのでしょうか？

「マスカスタマイゼーション」[IoT / つながる化]というキーワードに沿って、経営者が肌で感じる、日本のものづくりが直面する変化と危機感、さらには将来への展望について、各界の第一人者を招き、熱く議論します。

1

法政大学
デザイン工学部 教授

西岡 靖之氏



3

武州工業
代表取締役

林 英夫氏



2

未来調達研究所

坂口 孝則氏



4

アシスタント
フリーアナウンサー

石原 愛美氏



約120の講演会・セミナーは事前登録制・無料。いずれも先着順となります。セミナー情報は日々更新されますので、最新・追加情報の確認や「来場事前登録、講演会・セミナー受講申込」は公式サイトからお願いいたします。

スポンサー・セッション

12月2日(水) 13:00~14:00 レセプションホールB

「ものづくりの将来を支える
FA統合ソリューション
e-F@ctory」

e-F@ctory推進プロジェクトグループ
グループマネージャー

楠 和浩氏



三菱電機

基調講演、特別講演、特別セッション、IoTセッション、テーマセッション 【会議棟 1階】

レセプションホールB 300名	101会議室 100名
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	

10:00		
11:00	【特別講演】 11:00~12:00 日本GE 「GEのインダストリアル・インターネット戦略」	【テーマセッション】 10:30~12:30 IEC TC65国内委員会 + JEMAスマートマニュファクチャリング特別委員会 「Industry 4.0 - Smart Manufacturing ワークショップ(仮)」
12:00		
13:00	【テーマセッション】 13:00~15:30 横河電機・日産自動車・三井化学他 「IoTを支える制御システムセキュリティ(仮)」	【スポンサー・セッション】 13:00~16:00 アズビル 「IoTはこう使う！フリーアナウンサー 草野満代氏が迫るエネルギーマネジメント最前線」
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		

※講演時間、講演者、講演内容などは都合により予告無く変更する場合があります。

※満席になりましたら事前および当日申込受付を終了する場合があります。なお、空席がある場合は、当日の申込も可能ですので会場

※講演企業/団体および協賛企業/団体が自社の競合もしくは同業者と判断した場合、当日のご受講をお断りさせていただく場合があります。予めご了承ください。 当日受講の際、お名刺のご提出をいただきます。予めご準備

スポンサー・セッション			
12月3日(木) 14:00～17:00		102会議室	
「YOKOGAWAとCISCOが共に語るIoTによる価値共創」			
○「初公開!YOKOGAWAが描くIoTリファレンスモデルとその展望」 横河電機 取締役 奈良 寿 氏			
○「IoT両雄対談! IoTによる価値共創とリファレンスソリューション紹介」 横河ソリューションサービス 専務 山本順二 氏 シスコシステムズ 専務 鈴木和洋 氏			
YOKOGAWA ◆ 横河電機グループ			
12月4日(金) 13:00～16:00		101会議室	
「IoTはこう使う!フリーアナウンサー草野満代氏が迫るエネルギーマネジメント最前線」			
工場やプラント、建物におけるエネルギーマネジメントは今後どのように進化するのか? 国の施策、欧米の潮流を背景に最新の動向、およびIoTを活用した先端技術をフリーアナウンサー草野満代氏をファシリテータに迎えて紹介します。			
azbil		アズビル	
12月4日(金) 13:00～14:00		102会議室	
「富士通が考える次世代ものづくりICTについて-ものづくり革新アーキテクチャと「つながる工場」-(仮)」			
富士通では「ものづくり革新」への取組みとして、次世代のものづくりICTの実現に向けて具体化します。進化したICTをものづくりプロセスの全領域に統合的に組み込むことで、日本の強みをさらに強化する富士通のものづくり現場におけるICTを活用した例をご紹介します。			
Fujitsu		熊谷 博之 氏 富士通	

出展者セミナー
【展示ホール内セミナー会場 西ホール 4階】

セミナー会場 B 80名会場	セミナー会場 C 80名会場	セミナー会場 D 80名会場	セミナー会場 E 80名会場	
島津システムソリューションズ 「現場の「声」に応える制御システム METRIS-G4」	GEエナジー・ジャパン 「GE Predixによるアセット・マネジメントソリューション」	堀場製作所 「pHの基礎から測定ノウハウまでわかりやすく解説」	シュエアザール日本本社 「機械安全装置の無効化防止方策とISO 14119」	12 : 00 ～ 12 : 20
オムロン 「小型化技術 活用による産業機器の信頼性向上」	【テーマ枠: エネルギー・環境】 富士電機 「クラウド型総合設備管理システムの当社事例」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 Innominate Security Technologies AG 「mGuardによる産業通信セキュリティ」 フエニックス・コンタクト提供	【テーマ枠: ICT・イノベーション】 日立製作所 「日立の実業ノウハウを活かした故障予兆診断サービスの事例と効果」	12 : 30 ～ 13 : 20
日立ハイテクソリューションズ 「制御システムセキュリティと保守・メンテナンス効率化(仮)」	【テーマ枠: エネルギー・環境】 東芝三菱電機産業システム 「ユニークで確実なメリットのある省エネ事例と補助金活用のご紹介」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 横河ソリューションサービス 「安全計装システム導入に関わる最新事情(必要性の高まりと動向)」	【テーマ枠: ICT・イノベーション】 eWON 「コスト削減や業務効率向上をリモートアクセスで実現」	13 : 30 ～ 14 : 20
富士電機 顧客招待セミナー	フエニックス・コンタクト 「"Tanshidai 4.0"」	CC-Link協会 「IoT時代のFA統合ネットワーク CC-Link IE」	アズビル 「耐環境型光学式温度センサの開発とその可能性」	14 : 30 ～ 15 : 20
センサ工房ねっと 「IoT時代を先取りする「センサの診える化」革命」 エニワイヤ提供	エヌエフ回路設計ブロック 「周波数特性分析器(FRA)によるスイッチング電源の安定性評価」	横河電機 「完成! エネルギーと品質のベストバランスを実現するモデル化技術」	アズビル 「バルブ診断技術の最新動向」	15 : 30 ～ 16 : 20
ISA100 Wireless Compliance Institute 「ISA100 Wireless 技術紹介」	エクシダ・ジャパン 「IEC61511機能安全規格のプロセスへの適用」	エヌエフ回路設計ブロック 「高速バイポーラ電源の原理と応用」	横河電機 「世界初! スペクトル面積法を採用したレーザガス分析計の特長」	11 : 00 ～ 11 : 50
GEセンシング&インスペクション・テクノロジー 「ガス中の微量水分管理のための小型・高速・高感度な微量水分計」	シュエアザール日本本社 「IEC 61800-5-2 安全ドライブシステムとその適用」	島津システムソリューションズ 「国内初 現地における流量計のJCSS校正」	堀場製作所 「発生源の解析に役立つ PM2.5の成分分析」	12 : 00 ～ 12 : 20
日本フィールドコムグループ 「フィールドコムグループ最新技術動向」(仮)	【テーマ枠: エネルギー・環境】 日立産機システム 「IoT時代の遠隔モニタリングシステムへの取り組み(仮)」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 フエニックス・コンタクト 「次世代の世界最小幅セーフティリレー ユニークPSRmini」	【テーマ枠: ICT イノベーション】 アズビル 「プロセスビッグデータを活用した異常予兆検知システム」	12 : 30 ～ 13 : 20
ノーケン 「最新のレベルセンシング技術 ～電波法に基づくレーダー計測～」	【テーマ枠: エネルギー・環境】 横河ソリューションサービス 「IoTで工場、地域をつないだエネルギー全体最適化(CEMS)のご紹介」	【テーマ枠: セキュリティ・安全】 アズビル 「緊急遮断弁のPSTによるプラント安全操業とメンテナンス効率化」	【テーマ枠: ICT イノベーション】 オムロン 「IoTが巻き起こす製造業のイノベーション」	13 : 30 ～ 14 : 20
フエニックス・コンタクト 「市動向」 「市場動向」	アズビル 「急速に拡大するHART機器のメリットを最大化する方法」	エヌエフ回路設計ブロック 「低周波のEMC規格試験～IEC 61000-4-13」 「IEC 61000-4-34」	ETG日本地域委員会 「EthernetCATの最新動向とセーフティ機能について」	14 : 30 ～ 15 : 20
Balluff GmbH 「IO-Linkが支えるIndustry4.0の実現」(通訳あり)	富士電機 顧客招待セミナー	IEEC 「国際安全規格(ISO14119)の改定と対応について」	アンリツエンジニアリング 「Wi-SUN標準化動向とプロトコル試験・評価技法」	15 : 30 ～ 16 : 20
国内エンドユーザ企業 「エンドユーザ様によるISA100 Wireless導入事例紹介」 ISA 100 Wireless Compliance提供	エクシダ・ジャパン 「コントロールシステムにおけるサイバーセキュリティ」	アズビル 「触れずに測る、非接触速度のイノベーション技術紹介」	フロスト&サリバン ジャパン 「計測業界の未来を築くグローバルメガトレンドとビジネスの再構築」	11 : 00 ～ 11 : 50
東朋テクノロジー 「産業用途のための次世代高速電力線通信」	GEセンシング&インスペクション・テクノロジー 「ガス中の微量水分管理のための小型・高速・高感度な微量水分計」	堀場アドバンステクノ 「クラウド活用による水質計測器のメンテナンス低減」	アールエスコンポーネツ 「無料CADで制御盤設計、FAにもオープンイノベーション。」	12 : 00 ～ 12 : 20
シーメンス・ジャパン 「バーチャルな設計とリアルな動作を結び製造前に生産性向上を実現」	FDTグループ 日本本社 「急速に拡大するHART機器のメリットを引き出すFDT技術」	横河電機グループ 「プロセス製造業におけるIoTの取り組みと事例のご紹介」	アンリツ 「スペクトラムアナライザの基礎」	12 : 30 ～ 13 : 20
オムロン 「制御盤トレンドとオムロンの取り組み」	ジェイティ エンジニアリング 「制御システムのサイバー攻撃対策におけるCSMSの重要性」	横河電機グループ 「広域温度監視を際間なく新たな統合型温度監視ソリューション」	IEEC 「防爆国際規格の動向と防爆安全への取組み」	13 : 30 ～ 14 : 20
富士電機 顧客招待セミナー	CC-Link協会 「IoT時代のFA統合ネットワーク「CC-Link IE」」	安川シーメンス オートメーション・ドライブ 「エネルギーの新しい有効活用～環境保護とコスト削減の両立～」	東芝 「進化し続ける東芝の産業用コントローラとコンピュータ(仮)」	14 : 30 ～ 15 : 20

講演会・セミナーの最新情報、受講申込はこちらから⇒計測展 公式サイト <http://jemima.or.jp/tokyo/>



■ テーマ枠は「エネルギー・環境」「安全・セキュリティ」「ICT・イノベーション」の3テーマ。

※セミナー事前登録はひとつです。左記どちらの公式サイトでも事前登録が可能です。

JEMIMA委員会出展のご紹介

【温度計測委員会】

温度計測委員会では、20年ぶりに改正されたJIS C 1602 熱電対の改正のポイントをご紹介します。対応国際規格IEC 60584-3：2013との整合化を改正の基本として、熱電対の種類にC熱電対が追加され、R、S熱電対の許容差クラス1に1100℃以上1600℃未満が追加されました。改正についてご不明の点を温度計メーカーがご答えいたします。

【環境計測委員会】

人々の生活環境を守るために環境計測器は、いろいろな場所で使われています。そんな環境計測器をパネルでご紹介し、JEMIMAの刊行物もご紹介します。

【校正事業推進委員会】

ご好評をいただいている「JEMIMA JCSS校正サービスハンドブック」は、JCSSの現状をお伝えできるように計測展2013 TOKYOからリニューアルしました。恒例の「JCSS認知度アンケート調査」も実施します。当委員会にご来場の際には是非、アンケート調査にご協力をお願いします。

【製品安全・EMC委員会】

当委員会は、電気計測器及び関連製品について、国内外のEMC及び電気／光安全に係る各種法律及び関連規格を中心に、その制定・改廃に関する様々な情報を収集しています。この内、特に関心のある情報を「ナレッジベース JemiWiki」に分析・整理して蓄積し、当委員会に關係する会員等に限定してWeb公開しています。

会場ではJemiWikiのデモンストレーション及び各国法規制改正への対応や、安全規格であるIEC 61010等の規格関連の活動を紹介します。是非、当委員会のブースにお越しいただきJEMIMAの製品安全・EMCに対する取り組みをご覧ください。

JEMIMA委員会セミナー

※会場は、全て「東京ビッグサイト 西ホール2F セミナー会場J（西2商談室2）」になります。

12月2日（水）【電子測定器委員会】

時 間：11時00分～12時30分

テーマ：パワエレ市場で活躍する測定装置とその選び方のポイント（仮題）

概 要：電気機器の安全・安心は常に望まれます。機内温度上昇や装置外部の温度上昇の抑制が重要です。電氣的・機械的損失の正しい計測と部材選択、低減効果検証、熱流把握と放熱最適設計、熱発生を如何に抑えるかが技術者の腕の見せ所です。現場で活躍する計測器や計測技術を解説、適した計測機器の選び方についても言及します。

講 師：電子測定器委員会（JEMIMA） 島村 正彦 氏
他2名

12月2日（水）【校正事業推進委員会】

時 間：13時30分～16時00分

概 要：4年ぶりに供給される新しいJCSSと現状の枠組みでユーザニーズに応えるJCSSを紹介する。

テーマ：広がる校正サービス2015 ～計量標準の利用促進と新たなJCSS～

① ニーズに応えるJCSSの拡大と計量標準の利用促進について

本年7月の計量行政審議会計量標準部会にて、新たな特定標準器の指定や校正範囲の拡大について議決され、JCSSが拡大されることになったので、その概要を紹介する。また、計量標準の利用促進策の展開について知的基盤整備特別小委員会での議論などその概要を紹介する。

② 新たな石油小流量のJCSS取得にむけた共同研究について

産総研では、計量標準の利用促進の一環として民間企業との共同研究を行っている。新たな石油小流量のJCSS取得にむけたJEMIMA会員企業との共同研究について紹介する。

③ 耐電圧試験器のフルキャリブレーション

耐電圧試験器のJCSS校正を満足させるためには電圧だけではなく、時間のJCSSを取得する必要がある。メーカーとしての耐電圧試験器のトータルサポートを紹介する。

④ JCSSの利用・活用事例について

NITE認定センターでは、計量標準に関する利用促進方策の一環として、今年度JCSSの利用・活用事例をとりまとめたので、その内容の一部を紹介する。

⑤ JCSSは普及から利用促進へ

JCSSの認知度は上がっていると感じている。

JCSS制度の普及から利用促進へのステップアップのカギを考えてみたい。

講 師：① 経済産業省 産業技術環境局 計量行政室 室長補佐
田代 直人 氏

② 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 液体流量標準研究グループ長
嶋田 隆司 氏

③ 菊水電子工業株式会社 品質保証部 品質保証課
水野 惇也 氏

④ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター 計量認定課長
村田 浩美 氏

⑤ JEMIMA校正事業推進委員会
勝田 敏江 氏

12月3日（木）【PA・FA計測制御委員会】

時 間：11時00分～13時00分

① テーマ：制御システムセキュリティ向上に向けた取組み

概 要：制御システム・セキュリティ自己評価ツール「J-CLICS」の紹介と今後の展開

講 師：ABB日本ベレー株式会社 ハードウェア開発部 後藤 浩基 氏

株式会社日立ハイテクソリューションズ 水戸生産本部 計測制御開発部 システム開発グループ／技師
鈴木 龍一 氏

② テーマ：安全手法の国内外比較

概 要：絶対安全が存在しない中での安全目標達成に対する国内外手法の比較考察

講 師：日本エマソン株式会社 PSSセンター／マネージャー 荒木 高志 氏

③ テーマ：工業用無線最新動向と信頼性実証実験

概 要：IoTを支える工業用無線技術の最新動向とその信頼性実証試験の報告

講 師：株式会社チノー 技術顧問 鄭 立 氏

富士電機株式会社 技術開発本部 製品技術研究所 制御技術開発センター 加藤 泰輔 氏

12月3日（木）【戦略的基盤技術検討委員会】

時 間：13時30分～15時00分

テーマ：IoT (Internet of Things)のためのセンシングと無線給電技術

概 要：あらゆるモノがネットワークへの接続機能が持つInternet of Things時代において、センサとその運用形態はどう様変わりしていくだろうか。本講演では、無数のセンサをどう展開し、安定運用していくための印刷エレクトロニクスおよびエネルギーハーベスティング、無線給電技術について論じる。

講 師：東京大学 大学院情報理工学系研究科 准教授 川原 圭博 氏

12月4日（金）【環境グリーン委員会】

時 間：10時30分～12時30分

テーマ：製品含有化学物質規制 基礎セミナー

概 要：欧州、中国を中心に製品含有化学物質規制に関する基本的な事項について解説いたします。また、現在各種環境規制の発信元となっている欧州委員会の政策決定プロセスについても併せてご紹介いたします。

講 師：環境グリーン委員会／ブラッセル駐在（株式会社堀場製作所） 佐々木 晋哉 氏

環境グリーン委員会 副委員長（アンリツ株式会社） 篠原 徹 氏

環境グリーン委員会 副委員長（浜松ホトニクス株式会社） 桐原 雅和 氏

12月4日（金）【エネルギー低炭素政策委員会】

時 間：13時00分～14時30分

テーマ：IIoTと計測・制御技術で実現する工場とコミュニティのエネルギー最適利用

概 要：工場でのエネルギー効率向上の視点は個別最適から全体最適へとシフトしつつある。また工場はエネルギーの需要家であるだけでなく供給者にもなりうることから全体最適はエネルギーグリッドの連携へと拡大しつつある。本セミナーではエネルギー最適利用の将来像とその実現に要するIIoTなどの技術、法規制や国際標準を紹介する

講 師：アズビル株式会社 技術標準部 国際標準化担当部長 石隈 徹 氏

アズビル株式会社 AACマーケティング部 制御管理1グループ マネージャ 高山 仁 氏

横河電機株式会社 経営監査・品質保証本部 CSR部 環境・安全推進課 澤田 充弘 氏

三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 ソリューション技術部 主席技師長 森 一之 氏

12月4日（金）【IEC/TC65 国内委員会】

時 間：14時45分～16時45分

テーマ：IIoTを支える国際標準の最新動向

概 要：来るIIoTの波を前に将来の工場のあり方と国際標準化との関係を説明。

なぜ国際標準化が必要か、IIoTを支えるIEC国際標準化の概要、及びI4.0/Smart ManufacturingとTC65国際標準を詳細説明。

CDD、Digital Factory、ライフサイクル、EDDL/FDT/FDI等

講 師：IEC/TC65国内委員会 委員長（アズビル株式会社） 笹嶋 久 氏

IEC/TC65国内委員会 諮問委員会 幹事（アズビル株式会社） 石隈 徹 氏

他2名（山崎委員、池田委員）

JEMIS 043

接触式表面温度計の性能試験方法 制定のお知らせ

規格番号：043

規格名称：接触式表面温度計の性能試験方法

制定日：8月1日

担当委員会：温度計測委員会

制定の経緯

現在、ガラス製温度計を除く接触式温度計のJCSSでは、JIS C 1602及びJIS C 1604に規定する温度センサを校正の対象としており、接触式表面温度計と呼ばれる特殊な形状の温度センサは校正の対象として明確にしておらず、JIS C 1602及びJIS C 1604に規定する温度センサと同様の取り扱いでJCSS校正が行われています。

接触式表面温度計における測定方法と現状のJCSSの校正方法とが乖離しているため、JIS C 1602及びJIS C 1604に規定する温度センサと区別し、接触式表面温度計をJCSS校正の種類として追加する必要があります。

しかし、校正対象とする接触式表面温度計にはJIS等の規格がないため、温度計としての定義が明確になっていません。JCSS校正にするためには、接触式表面温度計の定義を明確にしてから、校正方法を定めることが重要であると判断し、一般社団法人日本電気計測器工業会規格（以下、JEMISという。）を起案し、制定しました。

主な規定項目

- | | |
|------------|--------|
| (1) 適用範囲 | (6) 外観 |
| (2) 引用規格 | (7) 性能 |
| (3) 用語及び定義 | (8) 試験 |
| (4) 種類 | (9) 検査 |
| (5) 構造 | |

頒布価格（消費税込み）

会員価格： 824円

一般価格：1,296円

JEMISはJEMIMAウェブサイト（<http://www.jemima.or.jp/>）の規格・刊行物からお申しいただけます。

問い合わせ先：一般社団法人日本電気計測器工業会

技術・標準部 勝田 TEL 03-3662-8183

新入会員

平成27年7月度理事会におきまして、下記の会社の入会が承認されました。

〔正会員〕

社名：東邦電気株式会社

代表者名：代表取締役社長 伊藤 一晃 氏

本社所在地：〒221-8712 神奈川県横浜市神奈川区羽沢町1638番地1

電話番号：045-610-5731

ウェブサイトアドレス：<http://www.tohodenki.co.jp/>

主要取扱製品名：電力需給計器 付属器具・その他（リレー類）

〔賛助会員〕

社名：メッツォジャパン株式会社

代表者名：代表取締役 横山 文雄 氏

本社所在地：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-9 新横浜金子ビル4階

電話番号：045-476-3935

ウェブサイトアドレス：<http://www.metso.com/jp/>

主要取扱製品名：PA用計測制御機器（工業用各種バルブ、バルブ制御装置、関連部品、付属品）

第139回 関西B・I研修会（見学会・製品説明会） 開催報告

日付：2015年8月12日（水）

場所：サントリー山崎蒸留所

参加：11名

1) 見学会

サントリー山崎蒸留所の特徴は、「世界にも類を見ない多彩な原酒のつくり分け」と「日本人の繊細な味覚にあったウイスキーを追求し、世界に通じるウイスキーをつくる」にあります。このこだわりを長年追い求め続け、匠の技を継承しながら多彩なモルト原酒をつくり分け、シングルモルトウイスキー「山崎」を世界品質に高めた山崎蒸留所の歩みは、見学者一同にジャパニーズウイスキーの歴史を強く実感させるものでした。見学を通じて、会員企業各社でのこだわりある技術の次世代への継承を考える機会となりました。

2) 製品説明会

恒例の会員企業による製品紹介（新川電機（株）関谷 憲一 様）が実施され、会員相互の認識を深める事ができました。

以上





欧州環境規制レポート（第40回）

環境グリーン委員会
中井章仁（ブラッセル駐在）

2010年9月に着任して以来、第21回から欧州環境規制レポートを担当させていただきましたが、2015年9月末（ブラッセル駐在期間5年1ヶ月）にて帰任する運びとなりました。

駐在期間中、ブラッセル活動の重要性をご理解いただき応援くださった吉原順二 専務理事を始めとするJEMIMA事務局の皆様と、日本側でのセミナー準備やロビー活動に必要な段取りを行ってくださった環境グリーン委員会の皆様に、お礼を申し上げます。また、前委員長 岩通計測株式会社 酒井聡様、現委員長 横河電機株式会社 澤田充弘様には、毎年の欧州訪問調査の取りまとめから委員会内での手続き・調整を含め、いつもブラッセル側が動きやすいように配慮くださり、特段の感謝を申し上げます。

後任は、佐々木 晋哉（ささき しんや）氏です。本レポートの末尾にて、着任の挨拶をされていますので、併せてご覧ください。

さて、過去5年強の駐在を振り返りますと、着任当時から在欧日系ビジネス協議会（略称：JBCE）の環境担当事務局として従事させていただいたことが大きな原動力となりました。一方で、最初は何をすれば良いのかすぐには理解できず、試行錯誤の連続であったことを思い出します。結果として、駐在期間中に一貫して私が特に気にかけたことは、利害関係者と関心分野の情報を共有し、時に協力し、時に正々堂々と競争することでした。

まず、JEMIMAが欧州環境規制で貢献するためには、どうしてもJBCEの協力が必要であると実感しました。原理原則は至って簡単で、欧州の法規制は欧州に住んでいる人達によって作られている構図です。この状況で、JEMIMAとJBCEと欧州規制へのロビー活動をどのように繋げるか、どうすればお互いがWin-Winの関係になれるのか、そしてJEMIMAのプレゼンスをどのように欧州に広げるか、を考え実行することに一番時間を割きました。

また、環境規制は業界別規制と包括的規制の大きく二つに分かれるため、欧州域内で意を共にする団体を探し協力すること、欧州委員会を始めとする規制当局者から生の意見を聞くこと、に優先順位を置き、ブラッセルに在住しているからできることに力を注ぎました。（言い換えると、日本でもできることは優先順位を落とし、その部分は日本側からの支援を仰ぐ形にさせていただきました。）

日本側においては、欧州より産業団体が詳細に分かれている特徴があるので、RoHS指令やREACH規則が代表する包括的規制については、日本側でワンボイス化することをお願いし、ワンボイス化された内容をJBCE内で検討し、結果としてJBCEが日本としてのワンボイスで動けるように調整をしました。特に、RoHS指令で言うカテゴリ8,9（医療機器・計測・分析・制御機器）は、幸いにも日本側でカテゴリ8,9連絡会というバーチャル組織が作られておりましたので、それを活用させていただくと共に、電子情報技術産業協会（JEITA）を中心とする電機電子4団体の欧州化学品WGグループとの連携を深めました。

一方で、連携とか協力という言葉は簡単で、組織として公式な関係がないものを維持継続することは、予想以上に変なことでした。人が変わり維持継続できない事態にも多く遭遇しました。団体で活動する企業から派遣された委員は、皆さん社内の仕事を同時に持たれており、多忙な状況下で団体活動を併任されているケースがほとんどです。各企業での優先順位が変化し、最初に削られるのは団体活動の人員や欧州駐在者の減員という傾向も目のあたりにしながら、欧州が繰り広げる止むことのない環境規制の標準化およびデファクト作り（政策）に対峙するためには、心で通じ合って共に前に進んでいく仲間が私には必要でした。

一言でまとめますと、5年間私が何とかやっていけたのは、仲間になってくださった方々のお陰様でした。この場をお借りして、私と共に前に進んでくださった多くの方々に感謝いたします。有難うございました。

本号では、前号（2015年6月）以降に動いた最新情報を、アップデートさせていただきます。

1. 循環経済（Circular Economy）ワークショップ

前号でも紹介の通り、欧州環境規制関連で一番関心が高いのは、循環経済政策がどのような対象と枠組みで設定されるかである。（下記、2015年7月24日、JEMIMA環境グリーン委員会主催セミナーからの抜粋資料ご参照。）

6月25日ワークショップ（欧州委員会主催） JEMIMA



●強い意気込みと関心

✓4人の欧州委員（大臣）

- F. Timmermans（第一副委員長）
- J. Katainen（副委員長）
- E. Bienkowska（経済担当）
- K. Vella（環境担当）

✓多数の欧州議員

✓約800人の参加者

✓6つのセッション

- 製造段階、消費段階
- 希少材料の二次的使用
- 材料と化学物質
- イノベーションと投資
- 廃棄物関連指令の補完

All Rights Reserved. Copyright © Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association 27

本話題は、中立性・透明性を維持しながら、人や組織や国を巻き込むことに長けている欧州の特徴が表れている。大きな門構えでスタートして、ゆっくり進むこのタイプのやり方は、一般論として日本が不得意とする（経験が浅い）ように思える。言い換えると、このタイミングで自社の関心分野を特定し、水面下で繰り広げられている基準・標準・ガイドライン作りやプロジェクト（公的資金）をどのように発見し参画していくのか（もしくは、参画しないという判断をするのか）が重要となる。

ご参考：循環経済に関するパブリックコンサルテーションリンク。（期間：5月28日～8月20日）

http://ec.europa.eu/smart-regulation/impact/planned_ia/docs/2015_env_065_env+_032_circular_economy_en.pdf

2. RoHS改正指令（呼称RoHS II）

2.1 2015年の注目ポイント

①RoHS追加禁止物質の見直し、②適用除外用途（共通、カテゴリ8&9専用）、③対象製品の見直し、であることは前号から変わっていない。以下、前号からの進捗部分にフォーカスしアップデートする。

2.2 追加禁止物質の見直し

追加禁止物質は、①フタル酸エステル類（DEHP, DBP, DiBP, BBP）の追加禁止、②その後の追加禁止（ワーキンググループによる議論）、がモニタリング案件であったが、①は6月4日に官報公布されたため、②だけが継続案件である。本件の進捗も、7月24日セミナーからの抜粋資料をご参照。

RoHS追加禁止物質検討WG



● 5つのグループに分かれてガイドラインを作成中

- ✓ 5条（適用除外用途）と6条（禁止追加要綱）の関連 レビュー中（9/8期限）
- ✓ 代替のアセスメントに対する基準 一旦完了
- ✓ 類似・グループ物質の定義 環境総局によるマージ待ち（夏休み明け）
- ✓ データの品質と不足データの取り扱い 一旦完了
- ✓ 加盟国提案の扱い 環境総局によるマージ待ち（夏休み明け）

● 全体を通じての特記

- ✓ 大枠の合意形成がこのWGで行われる
- ✓ 環境総局担当者が交代（Mr Michele Canova）
- ✓ Chemsec（NGO）が、進め方に不満を持ち脱退
- ✓ 加盟国提案とグループ物質の議論に注視必要



All Rights Reserved. Copyright © Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association. 37

2.3 適用除外用途

適用除外用途の審査は、リンク（<http://rohs.exemptions.oeko.info/index.php?id=127>）でパブリックコンサルテーションとして公開される。定期的にモニタリングしておくことをお勧めする。

計測器（JEMIMA）にも関わる可能性がある延長申請は、次の二つである。

- ①光学ガラスフィルタ中の鉛：6月19日にパブリックコンサルテーションが終わり、現在コンサルタントによるレポート作りの段階。レポート公開は11月を目指している。この申請は、過去号で継続して掲載している欧州28団体による協働申請の一つである。
- ②250kVDC以上のケーブル中の鉛：時間軸は①と同じ。
- ③パイロ・ピエゾセンサー中の鉛：時間軸は①と同じ。付属書III（カテゴリを問わない共通除外）とIVの両方で申請されている。この申請は、付属書IIIの7c（電子部品中の鉛）、付属書IVの赤外線検出器中の鉛、と一部重複しており、二次的な悪影響を受けないかについて状況を観察している。

2.4 対象製品の見直し

ずるずると遅延しており、欧州委員会担当者からの最新情報によると、11月に欧州委員会案をアセスメントレポートと共に出すとのこと。中古再生品が2019年7月以降も販売できるようになる改正案や2019年から新たに対象となる製品例と除外製品（Exclusion）が追記される予定である。

3. REACH規則関連

3.1 PACT-RMOA進捗

下記抜粋資料は、7月14日時点での調査で287物質だったが、8月27日時点での調査では293物質になっていた（確実に増え続けている）。本リストに一度掲載された後に、削除されるケースも確認できており、政治的背景も伺える。本公開ツールは、産業界から透明性がないと言われることを防衛する目的も持っているとも言われており、従って誰でも情報掲載者にコンタクトすることができるという立て付けになっている。欧州化学品庁（ECHA）を含み、規制当局に物言いをしたい場合は、PACT-RMOAも常にモニタリングしておくことが重要であることは言うまでもない。

PACT-RMOA and hazard assessment 概要



- PACT: The Public Activities Coordination Tool
 - ✓ 加盟国の規制当局が将来規制の提案を行うかどうか判定するために評価を実施している(or実施完了した)物質を公開するツール。
 - ✓ 当局がどの物質に関心を持っているか確認可能。(連絡先記載)
- Web改訂(2015年4月1日)
 - 旧: PACT-RMOA Substances
 - 新: PACT - RMOA and hazard assessment activities
 - 「Hazard assessment」物質の追加
- 物質数: 合計 287物質 → SVHC予備軍?
 - RMOA: 98物質(2014年12月) → 121物質(2015年7月14日)
 - Hazard assessment: 138物質(2015年4月) → 166物質(2015年7月14日)
 - 内分泌かく乱が主要根拠(28物質)、感作性が主要根拠(19物質)

All Rights Reserved. Copyright © Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association.

62

<挨拶>

このたび、2015年8月5日付けにて在欧日系ビジネス協議会（以下JBCE）事務局に着任しました堀場製作所の佐々木晋哉でございます。ベルギー・ブラッセルの夏の一日は長く、夜は10時頃まで明るく、生活・仕事の準備をする時期としては最適でした。

さて、JBCEは1999年に設立された業界横断の組織であり、私が主に担当する環境委員会、基準認証委員会の他にも通商委員会、CSR委員会、情報社会委員会、会社政策委員会を構成し、日系企業のビジネス拡大に貢献しています。皆様ご存じの通り、RoHS、REACH等の環境規制は欧州で産声をあげた後、日本、アジア、世界へと瞬く間に伝播していきました。そして、欧州では環境、エネルギー、社会、経済の結びつきを強めており、今まで以上に早い段階で関与していくことが重要です。具体的な内容につきましては、次回以降のレポートにて紹介します。

JEMIMA吉原専務理事、JEMIMA環境グリーン委員会の皆様には、過去から欧州での活動をご支援いただき感謝しております。JEMIMA環境グリーン委員会の委員として、新しい環境のもと皆様のお役に立てるよう努めますので、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



IEC/TC66 Essen会議参加報告

製品安全・EMC委員会

1. 概要

IEC/TC66が管轄するWG/MT/JWGは2010年以降に数を増し、現在、WGは5つ、MTは2つ、JWGは1つとなっている。IEC/TC66は2011年以降、WG1及びWG2において年2回のペースで会議を開催している。前回は日本初開催となった東京会議であり、2014年11月に開催されたのは前報（JEMIMA会報 2015/Vol.52 No.2）のとおりである。今回、2015年4月に開かれたEssen（ドイツ）会議では、4/13（月）から4/16（木）の会期でWG2, WG1, MT10の会議が開催された。本稿ではEssen会議におけるWG2とWG1を報告する。

2. 開催地のEssen

Essenはドイツのデュッセルドルフとドルトムントの間に位置し、工業都市としても著名である。IEC/TC66の会議場所は、前回の東京会議のように国内委員会が招待することもあるが、IEC/TC66委員が所属する会社／団体で開催されることが多い。今回はコネクタや測定プローブで著名なMulti-Contact AG社にて開催された。

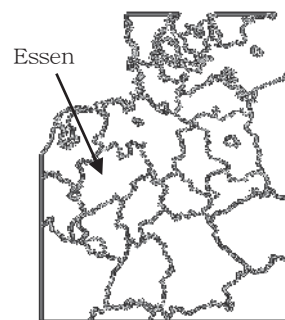


図1. ドイツとEssen

3. Essen会議

-1. WG2（計測）、コンビナ：Mr. Didier Piaud（FR, Chauvin Anourx）

(1) IEC61010-031（測定プローブ）

今回の会議ではコメントの審議は行われなかった。これは、FDISの投票中であり、会議後の4/24に投票締切日が設定されたためである。投票の結果、賛成票100%でEd.2のISが作られることになった。

(2) 対応優先順

IEC61010-2-034（絶縁抵抗計と耐圧試験器）、IEC61010-2-030（測定一般）を最初に解決し、IEC61010-2-033（ハンドヘルドDMM）、IEC61010-2-032（クランプ）を次に修正することになっている。今回もIEC61010-2-034、IEC61010-2-030のコメント審議のみとなった。

(3) 新しい規格 IEC61010-2-03X

TC66組織の下、TC38/WG49とWG2の間で、新しいIEC61010-2-03xを作るJWGが提案されている。対象となるのは設置して使用する電流センサである。

(4) IEC61010-2-034（絶縁抵抗計と耐圧試験器）

IEC61557-2に類似の安全要求があるが、WG2としてはIEC61557-2についてIEC61010-2-034に合わせてもらうように、強く依頼する予定である。IECガイド104によれば、7.3.1で、そうした調整をTC間でする必要がある。

(5) IEC61010-2-030（電気測定器一般）

端子台の例外について、日本からは「変更なし」と「妥協案（道具が必要な追加のカバーの付加）」の2つを同時提案した。端子台の例外は以前の版から記載されていたものであり、前々回Northbrook会議で初めて上がった議題である。前回東京大会では、一部の委員の反対意見を除き、いかなる例外も認めない方向性で議論が進んでいた。しかしながら、基本的で有用な端子でもあり、例外がなくなった場合、ユーザ側が外付けの端子台を作る可能性が高くなり、機器は安全であっても、ユーザによって接続された機器や治具が必要な安全性を満たさずに危険源になる可能性があった。日本としては、他の委員との調整を行いながら、先ほどの2つの意見を提案した。この結果、電圧の発生源となるIEC61010-2-034では端子台の例外は認められなくなったが、IEC61010-2-030の方は引き続き例外として認められるようになった。今回、この議論が日本としては一番大きな議論であり、収穫となった。

また、1CD版に載っていたFigure 16及び17（どの章を適用すれば良いかのフローチャート）につい

て、前回東京大会で日本から提案を行った。提案内容は、フローチャートの書き方に統一がなく、ブロックごとに書き方がまちまちであるため書き直しの提案であった。しかしながら、どこがどのように変わったか、他の委員に伝えることができず、今回のEssen会議の課題となった。このため、今回、どのような指針で書き換えたかの説明を行った。今回、この代替のフローチャート案は大枠で受け入れられた。一方で、こうあるべき、この解釈は間違いなどの新たな課題も出てきている。日本案は、まだ間違いはあるが、2CDのinformative annexに入れることになった。

(6) IEC61010-2-033 (ハンドヘルドDMM)

新しいリーダの下で、次版を作る予定となっている。

-2. WG1 (一般)、コンピナ: Mr. Thomas Smith (USA, FLUKE)

(1) 概要

IEC61010-1は修正票1を作成中で、2CDを15/6/1配布、CDV 16/2/1配布、16/5/1投票期限、FDIS 16/10/1配布、16/12/1投票期限の予定で進んでいる。今回は、1CDのコメントを審議終了した。下記に、いくつか審議された項目を上げる。

(2) 6.3.1c) 及び6.3.2c) の許容キャパシタンスの引き下げ

単一故障時の接触電圧とキャパシタンスの話は、現在のグラフの基準が「痛覚の限度」であり、「知覚の限度」への変更がベースであることが説明された。審議の結果、今回のEd.3.1ではなく、Ed.4で考慮されることになった。

(3) 14.9.1キャパシタンス

特にYキャパシタンスやサージサプレッサ、MOVについてとても長い議論になる。基本的な考えとして、エネルギーを低減できる部品の存在について受け入れられているが、要求を入れる場合に、信頼性まで考慮して、具体的に矛盾がない要求を入れることが難しい。これについてタスクフォースを作る。

(4) 付属書 (informative) へ「修理後の耐圧試験」

将来の課題とすることで落ち着いた。

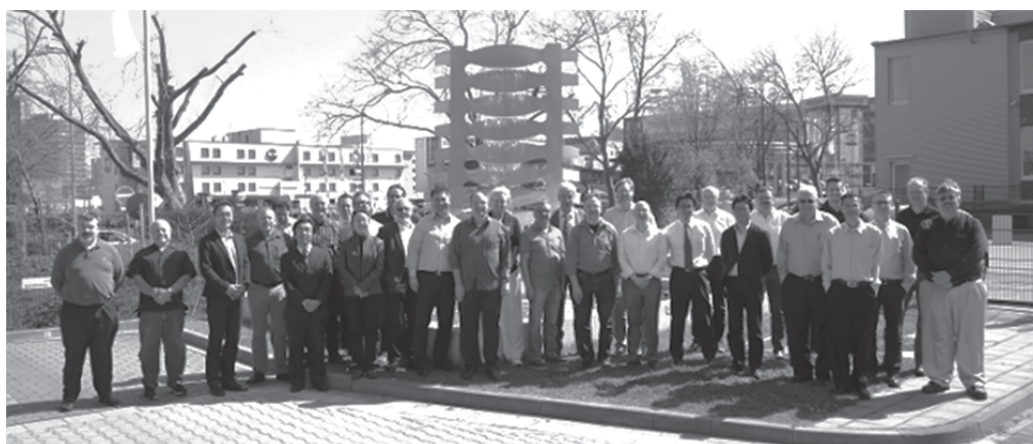


図2. WG1メンバーの集合写真

4. 次回会議

次回は、検査機関のCSAがあるTorontoにて、2015年9月21日から25日の日程でWG1及びWG2の会議が開催される予定である。2016年春はPenangあるいは北京での開催予定で計画されている。

以上、IEC/TC66 Essen会議について報告した。次回はToronto会議を報告する予定である。

講演会「ミャンマーのビジネス環境上の課題と展望」 実施報告

主催：国際委員会

国際委員会は、平成27年9月10日（木）15:00～17:00 計測会館にて、日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部アジア大洋州課 課長代理 水谷俊博氏をお招きして「ミャンマーのビジネス環境上の課題と展望」と題し講演会を実施いたしました。本講演会は、JEMIMA重点計画施策のひとつである「国際化」に向け会員企業に限定した企画としましたが、今後も国際委員会では、会員企業にとって具体的に役に立つ講演会の企画を進めたいと考えています。

【ミャンマーの概要】

人口：5,148万人（2014年）

首都／面積：ネーピードー／67万8330km²（日本の約1.8倍）

公用語：ビルマ語

宗教：仏教（89.4%）、キリスト教（4.9%）、イスラム教（3.9%）

為替レート：1ドル 約1,125チャット前後（2015年7月）

経済成長率：8.3%（2015年IMF推定）

一人当たりGDP：1,333ドル（2015年IMF推定）、CPI上昇率8.4%（2015年IMF推定）

【講演要旨】

日本は大企業だけでなく、中小企業からのミャンマービジネスへの関心が高く、サービス業分野への進出を目指す企業も増加中。2011年の現政権移管後、新たなビジネスチャンスを求めて世界各国の企業がミャンマーの豊富な労働力、成長市場を求めて進出している。外資企業は貿易業が認められないため、ミャンマー国内に販売会社は設立できず代理店を介しての販売が原則となる。基礎インフラの未整備により進出をためらう日本企業は多いが、ティラワSEZの開発が工場進出の後押しをしている（日本とミャンマーの緊密な経済関係を象徴するプロジェクト）。

2015年11月8日に予定されている総選挙。最大与党であるUSDP（連邦団結発展党）、アンサンスーチー議員率いるNLD（国民民主連盟）、少数民族政党を含め、総選挙実施までの過程において少数民族武装勢力との和平交渉の行方を注意深く見守る必要もある。

本講演会はミャンマーの情報収集を希望している会員企業向けに開催いたしました。講演会終了後は、個々に講師の水谷様に具体的な質問ができるように名刺交換の時間を設けました。

■経済動向ミャンマー - アジア - 国・地域別に見る - ジェトロ■

http://www.jetro.go.jp/world/asia/mm/basic_03.html



講演風景

委 員 会 開 催 録

開催場所に指定のない会議は計測会館にて開催しました

機能別委員会

《企画運営会議》

開催日 6月12日

場 所 コクヨ多目的ホール

議 事

1. 第55回定時総会、5月度定例理事会 報告
2. 7月度定例理事会の議題審議
3. 成果報告会での発表対象委員会の選定方法について（調査統計委員会からの問い）
4. 本日の平成26年度委員会活動成果報告会の準備

開催日 7月7日

場 所 アズビル株式会社 藤沢テクノセンター

議 事

1. 7月度定例理事会次第内容の確認
2. 平成27年度 第2回委員長連絡会議の議題審議
3. 各タスクフォースについて（新TF、担当、活動計画など）
4. 企画運営会議委員の担当委員会一覧表の見直しについて
5. JEMIMA活動広報強化のために利用する出張報告、セミナー報告の様式について
6. JEMIMAの今後について

《広報委員会》

開催日 6月25日

議 事

1. 関西地区でのセミナーについて、関西支部で会員アンケートを実施する
2. 他団体（NECA）の広報部門との交流会を検討

開催日 7月23日

議 事

1. オマーン国で開催される展示会より、JEMIMAロゴの使用申請があり、審議中
2. JEMIMAに寄せられる問合せに関連するWebページの充実について
3. 委員の増員について

《製品安全・EMC委員会》

開催日 6月5日

議 事

1. 2015年度第1回IEC61010勉強会報告

2. 欧州規制調査WG成果物報告

3. 欧州訪問調査の検討開始

4. セミナー実施計画の詳細検討

5. 情報交換会

中国における「携帯電子機器用リチウムイオン電池の安全要求」、各国の電池環境規制、韓国 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示、リチウム電池の航空輸送制限

開催日 7月3日

議 事

1. オーストラリアRCM規制の情報収集
2. IEC/TC66国際会議（エッセン）報告の会報掲載原稿について
3. 今年度第1回セミナーは「アジア各国の安全とEMC」に決定
4. 第2回IEC61010勉強会を8月末頃に計画する
5. 情報交換会
オーストラリアの新たな電気用品安全規格EESS及びRCM、中国での輸入通関、欧州周辺国へのスペアパーツ輸入時のCEマーク、トルコTSE規制、外付けの直流電源装置を使用した機器、IEC61010-2-030の適用範囲、衝撃試験

開催日 8月7日

議 事

1. 取説ガイドライン・レビューの今後の進め方について
2. メルマガ掲載記事の充実化活動
3. 第1回セミナー「アジア各国の安全とEMC」の詳細決定
4. 第2回セミナーは「これから始める製品安全とEMC」を12月に計画する
5. IEC61010-31のJIS化検討
6. 情報交換会
「リチウムイオン電池の国際航空輸送規則の状況」説明会、落下試験のサンプル数、ACアダプタのエネルギー規制、電気計測器の製品寿命、Blue Guide 2014 Version 1.19

《環境グリーン委員会》

開催日 6月4日

議 事

1. 水銀条約関連
2. 欧州最新情報
3. 上期セミナーの予定について
4. EPPAとの交流会（情報交換会）

開催日 7月2日

議 事

1. 水銀条約関連
2. 欧州最新情報
3. 中国関連情報
4. 環境セミナー実施詳細確認

《校正事業推進委員会》

開催日 6月19日

場 所 名古屋市工業研究所

議 事

1. 報告事項
 - (1) 分野別WG
 - (2) 委員会活動成果報告会アンケート調査結果
2. JEMIMA会員向けアンケート調査結果について
3. 計測展2015 TOKYOについて
4. JCSS PR月間について

《エネルギー・低炭素政策委員会》

※エネルギー計測・制御WG (WG1)

開催日 6月1日

議 事

1. EMUの定義に関するディスカッション
2. 情報共有

開催日 7月23日

議 事

1. IEC/TC65/JWG14 Stuttgart会議報告
2. 計測展に向けて
3. 工場におけるエネルギーマネジメント (FEMS) の実態調査について

開催日 8月5日

議 事

1. 省エネ大賞事例の調査報告

開催日 8月31日

議 事

1. IEC/TR62837 Ed.2ドラフト案について
2. 計測展委員会セミナーについて

※規制・国際標準対応WG (WG2)

開催日 6月1日

議 事

1. ISO 14001改正情報
2. 電機電子業界温暖化対策について

開催日 8月20日

議 事

1. WG取り組み課題の確認
2. 地球温暖化対策の推進に関する法律一部改正について
3. 水素社会に関して
4. 計測展に関して

※スマートグリッドWG (WG3)

開催日 6月1日

議 事

1. IEC/TS 62872 DTS投票結果について
2. 電力市場について
3. 平成28年度省エネ標準化事業について

開催日 7月23日

議 事

1. IEC/TC65/WG17 Vienna会議報告
2. Vienna会議の宿題と今後の活動について
3. 平成28年度省エネ標準化事業新規テーマについて

開催日 8月18日

議 事

1. Use Case検討の報告

機種別委員会

《指示計器委員会》

開催日 6月9日

議 事

1. 委員会活動成果報告会について
2. 電子式指示計器のIEC 61557-12翻訳作業
3. JIS C 1111とIEC 60688の比較表作成

開催日 7月9日

議 事

1. JIS C 1111とIEC 60688の比較表作成

《PA・FA計測制御委員会》

開催日 6月26日

議 事

1. 「平成26年度成果報告」原稿資料確認
2. 8月PA・FAクォーターリー原稿最終案報告
3. 6月度見学会実施要領確認
4. IEC/TC65諮問委員会6月報告

見学会

1. 場所：古利根川水循環センター

2. 見学コース：

- ①水の循環や下水道の役割、流域下水道の概要について説明
- ②ポンプ、反応タンク等の水処理施設、脱水機、焼却炉等の污泥処理施設 などを見学

開催日 7月22日

議 事

1. 「平成26年度成果報告」原稿査読確認
2. 流量計評価規格WG応募状況
3. 計測展テーマ・講演者決定
4. 11月PA・FAクォーターリー原稿テーマ・執筆者確定
5. 11月度見学会検討
6. IEC/TC65諮問委員会7月報告
7. 7月度講演会確認
8. 4月委員長連絡会議報告

講演会

Industry4.0 - Smart Manufacturingの動向紹介

《温度計測委員会》

開催日 6月10日

議 事

1. 報告事項
 - (1) IEC/SC65B/WG5京都会議
 - (2) 委員会活動成果報告会発表
2. 温度計トラブル事例講演会について
3. JEMIS 034（測温抵抗体）の見直しについて

開催日 7月23日

場 所 ハートピア京都

議 事

1. 報告事項
 - (1) 委員会活動成果報告会アンケート結果の紹介
 - (2) JEMIS 043完成
2. JEMIS 034（測温抵抗体）の見直しについて

《防爆計測委員会》

開催日 6月16日

議 事

1. 報告事項
 - (1) 2015Ex調査WG
 - (2) IECExシステム国内審議委員会
 - (3) IEC/TC31国内委員会
 - (4) 国際整合防爆指針2015の運用上の懸念事項について
 - (5) 平成26年度 委員会活動成果報告会について
2. 見学会について

開催日 7月10日

議 事

1. 報告事項
 - (1) 2015Ex調査WG
 - (2) IECExシステム国内審議委員会
 - (3) IEC/TC31国内委員会
 - (4) 国際整合防爆指針2015の運用上の懸念事項について
 - (5) 平成26年度 委員会活動成果報告会について
2. TIIS見学会/意見交換会について

刊 行 物 案 内

最新情報と購入申込はホームページの「刊行物」をご覧ください

※表示価格は税込み（消費税率8%）です

工業会規格（JEMIS）

番 号	規 格 名 称	一般価格	会員価格
・JEMIS 001-1982, 006-009-1978	パネル用計器の正面塗装色 など(002-004廃止、005欠番)	1,080円	1,080円
・JEMIS 010-1977	接触燃焼式可燃性ガス漏えい検知警報器	162円	162円
・JEMIS 011-1977	半導体式可燃性ガス漏えい検知警報器	162円	162円
・JEMIS 012-1977	電気化学式毒性ガス漏えい検知警報器	162円	162円
・JEMIS 013-1977	半導体式毒性ガス漏えい検知警報器	162円	162円
・JEMIS 014-1977	電気化学式酸素漏えい検知警報器	162円	162円
・JEMIS 016-1992	可聴周波発振器試験方法	1,296円	1,080円
・JEMIS 017-2007	電気標準室の環境条件	1,080円	864円
・JEMIS 018-1979	メータリレー	1,080円	1,080円
・JEMIS 019-1980	AC-DCトランスデューサ	864円	864円
・JEMIS 020-1981	クランプ電流計	540円	540円
・JEMIS 021-2012	環境計測技術用語	3,240円	2,700円
・JEMIS 022-1983	工業計器性能表示法通則	4,320円	3,240円
・JEMIS 024-1984	工業計器一般仕様書記載項目	3,780円	2,700円
・JEMIS 026-1992	工業計器性能用語	4,860円	3,780円
・JEMIS 027-1985	工業プロセス用圧力・差圧伝送器の試験方法	2,700円	2,160円
・JEMIS 028-1998	渦流量計による流量測定方法	3,240円	2,160円
・JEMIS 030-1986	原子力発電所プロセス計測機器の試験指針	2,700円	2,160円
・JEMIS 032-1987	超音波流量計による流量測定方法	3,780円	3,240円
・JEMIS 033-1997	マイクロコンピュータ応用計測制御機器設置環境ガイドライン	4,320円	3,240円
・JEMIS 034-2001	熱電対及び測温抵抗体による温度測定方法	3,240円	2,160円
・JEMIS 035-1990	プロセス分析計性能表示法通則	3,240円	2,700円
・JEMIS 036-1994	計測制御機器イミュニティ試験法	4,320円	3,240円
・JEMIS 036-1996	サージイミュニティ試験法 (Amendment-1)	1,620円	1,080円
・JEMIS 037-6-1997	工業プロセス計測制御機器伝導性無線周波妨害イミュニティ試験法	3,240円	2,160円
・JEMIS 037-8-1998	工業プロセス計測制御機器商用周波数磁界イミュニティ試験法	3,240円	2,160円
・JEMIS 037-11-1999	工業プロセス計測制御機器電圧ディップ、瞬時停電および電圧変動イミュニティ試験法	2,160円	1,620円
・JEMIS 038-2006	JEMIMAフィールドバス	3,240円	2,160円
・JEMIS 039-2002	工業プロセス計測制御機器の電磁波妨害特性許容値および測定	3,240円	2,160円
・JEMIS 040-3-2002	定格電流16A以下の工業プロセス計測制御機器に使用される低電圧電源システムの電圧変動とフリッカの許容値	2,160円	1,620円
・JEMIS 041-2002	電磁式水道メーターの面間寸法	1,296円	1,080円
・JEMIS 042-2003	電磁流量計の長期安定性	1,296円	1,080円
・JEMIS 043-2015	接触式表面温度計の性能試験方法	864円	1,296円

報告書類

報 告 書 名	一般価格	会員価格
・電気計測器の中期見通し 2014～2018年度(平成26年12月)	8,640円	3,240円
・エネルギー効率化のためのシステムアプローチ入門(平成26年7月)	無料	無料
・明快!!安全保障輸出管理教本・入門から実務まで 改訂第2版(平成26年4月)	2,160円	1,080円
・JIS C 1111:2006 交流トランスデューサ運用マニュアル(平成24年3月)	3,240円	2,160円
・スマートグリッドベストプラクティス集 2011春(平成23年4月)	無料	無料
・安全計装の理解のために「JIS C 0511 機能安全—プロセス産業分野の安全計装システム」の解説(平成21年7月)	2,160円	1,080円
・ハンドキャリー手続きマニュアル 第6版(平成21年7月)	1,188円	648円
・安全保障貿易管理 該非判定ガイダンス 2009(平成21年3月)	1,620円	864円
・環境計測器ガイドブック(第6版)(平成18年10月)	4,320円	4,320円
・申請者のための防爆申請ガイド＝本質安全防爆編 FISCO Model＝(平成17年3月発行)	4,320円	2,700円
・申請者のための防爆申請ガイド＝本質安全防爆編＝(平成11年3月)	4,320円	2,700円
・申請者のための防爆申請ガイド＝耐圧防爆構造＝(平成10年3月)	4,320円	2,700円

平成28年経済センサス - 活動調査を実施します。



経済センサスキャラクター

- ▶ 平成28年6月にすべての事業所・企業を対象とした経済センサス-活動調査を実施します。
- ▶ 調査結果は、各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。
- ▶ 調査を正確かつ円滑に実施するため、支社等を有する企業の本社あてに、平成27年9月下旬に「企業構造の事前確認票」を郵送しております。
- ▶ 調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。

総務省・経済産業省

「生産動態統計調査」(経済産業省) (<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>) をもとにJEMIMA作成
下記の数値は修正される場合があります。経済産業省生産動態統計HPの統計発表資料をご確認の上で、ご利用ください
(金額:百万円, 前年比:前年同期比増減率%)

生産	電気計測器 合計													
	電気計器					電力量計				電気測定器				
	指示計器													
	金額	前年比	金額	前年比		金額	数量	前年比	金額	前年比	金額	数量	前年比	
2014(H26)暦年	344,192	5.2	52,606	41.8	4,586	-1.2	5,229,379	48,020	47.9	144,438	-0.1	560,142	12,582	2.9
2014(H26)年度	354,204	9.1	60,415	65.6	4,846	0.3	6,259,949	55,769	75.1	147,783	3.8	560,137	12,260	-3.3
2014/07～09	89,512	13.0	14,357	64.0	1,063	0.5	1,458,723	13,294	72.8	38,842	17.1	138,517	3,126	0.0
2014/10～12	85,957	19.4	17,577	98.8	1,309	-4.7	1,815,389	16,268	117.9	33,911	16.2	145,276	2,927	-0.1
2015/01～03	105,055	10.5	17,292	82.3	1,189	5.3	1,855,740	16,103	92.8	42,888	8.5	137,855	3,215	-9.1
2015/04～06	93,939	27.5	19,751	76.5	1,044	-3.8	2,176,627	18,707	85.1	42,190	31.3	110,320	2,741	-8.4
2015/05	28,485	20.8	5,643	80.3	313	-7.1	622,786	5,330	90.8	13,204	27.8	34,357	870	-9.8
2015/06	34,378	28.6	7,339	71.2	370	-4.4	813,410	6,969	78.6	15,102	37.9	33,975	980	-7.5
2015/07	35,203	22.1	7,577	64.9	374	-5.6	888,941	7,203	71.5	16,286	19.7	43,905	1,100	1.8
2015/01～2015/07	234,197	18.6	44,620	76.6	2,807	-0.1	4,921,308	42,013	85.4	101,364	18.9	292,080	7,056	-7.3
2015/04～2015/07	129,142	26.0	27,328	73.1	1,418	-4.3	3,065,568	25,910	81.1	58,476	27.8	154,225	3,841	-5.7

生産	電気計測器													
	電気測定器													
	無線通信測定器													
	半導体・IC測定器						ロジックICテスト							
	数量	金額	前年比	金額	前年比	数量	金額	前年比	数量	金額	前年比	数量	金額	前年比
2014(H26)暦年	13,239	16,863	6.4	67,726	-2.9	384	22,093	-33.3	357	3,608	-4.9	2,427	42,025	27.9
2014(H26)年度	13,467	22,136	115.5	66,175	-10.1	373	22,812	-21.1	453	3,573	0.7	2,020	39,790	-3.3
2014/07～09	3,545	7,629	471.9	16,937	-9.3	103	4,709	-53.4	104	897	21.4	792	11,331	44.7
2014/10～12	3,640	5,950	539.8	13,410	-7.2	118	7,207	69.1	86	635	-21.1	539	5,568	-40.7
2015/01～03	4,315	6,936	317.1	19,422	-7.4	78	6,560	12.3	160	1,203	-2.8	245	11,659	-16.1
2015/04～06	3,070	5,982	269.0	21,421	30.6	103	8,838	103.8	181	997	19.0	297	11,586	3.2
2015/05	945	1,825	408.9	7,305	31.4	31	2,503	79.7	58	295	5.7	116	4,507	15.9
2015/06	991	2,253	150.1	7,164	46.5	38	2,919	79.5	65	450	53.6	76	3,795	27.8
2015/07	997	1,794	-43.7	9,331	59.6	37	2,922	147.8	48	165	-54.3	163	6,244	45.0
2015/01～2015/07	8,382	14,712	127.3	50,174	16.1	218	18,320	61.3	389	2,365	-3.0	705	29,489	0.2
2015/04～2015/07	4,067	7,776	61.7	30,752	38.2	140	11,760	113.2	229	1,162	-3.1	460	17,830	14.7

生産	電気計測器												
	電気測定器						工業用計測制御機器						
	その他の電気測定器						発信器						
	金 額			温度計			圧力計			流量計			
	金額	前年比		数量	金額	前年比	数量	金額	前年比	数量	金額	前年比	
2014(H26)暦年	33,090	0.9	123,159	1.4	1,066,600	11,938	-4.0	317,292	10,250	7.2	83,136	9,973	3.7
2014(H26)年度	47,212	3.0	122,058	-0.5	1,085,012	12,055	-1.7	321,821	10,656	8.2	78,559	9,349	-6.2
2014/07～09	11,150	10.9	30,273	-5.1	279,418	3,003	-4.1	79,821	2,555	0.9	18,461	2,367	1.1
2014/10～12	11,624	6.8	29,111	0.7	276,948	3,124	-1.1	78,075	2,607	13.5	20,963	2,238	-4.1
2015/01～03	13,315	-0.4	36,424	-2.9	278,215	3,125	3.9	83,133	3,098	15.1	19,004	3,006	-17.2
2015/04～06	12,046	8.3	27,314	4.1	263,055	3,088	10.2	74,625	2,552	6.5	17,346	1,587	-8.7
2015/05	3,204	-7.0	8,227	-5.0	82,726	967	0.3	21,872	681	-10.0	4,943	485	-12.1
2015/06	4,705	14.7	10,243	1.9	90,070	1,055	19.2	28,672	1,060	24.4	6,576	584	-11.2
2015/07	4,061	16.5	9,850	10.2	101,785	1,030	1.5	24,737	888	13.8	7,287	606	-11.1
2015/01～2015/07	29,422	5.2	73,588	1.2	643,055	7,243	6.1	182,495	6,538	11.4	43,637	5,199	-14.1
2015/04～2015/07	16,107	10.3	37,164	5.6	364,840	4,118	7.9	99,362	3,440	8.3	24,633	2,193	-9.4

注) 主要製品であっても2以下の事業所数又は企業数に係る製品は記載せず、秘匿の必要がある場合は「×」で示しています。

下記の数値は修正される場合があります。経済産業省生産動態統計HPの統計発表資料をご確認の上で、ご利用ください
(金額:百万円, 前年比:前年同期比増減率%)

生産	電気計測器				受償計				プロセス用分析計				プロセス監視制御システム			
	工業用計測制御機器				その他の発信器											
	発信器															
	数量	金額	前年比		金額	前年比			数量	金額	前年比		数量	金額	前年比	
2014(H26)暦年	140,154	13,140	102		11,042	2.0			736,519	15,386	17.3		27,448	13,273	17.3	
2014(H26)年度	145,043	13,474	9.7		10,628	-7.2			720,051	14,657	2.5		25,035	13,701	14.1	
2014/07～09	35,632	3,353	4.1		2,600	-6.6			180,001	3,637	13.6		6,009	3,134	9.2	
2014/10～12	32,449	3,141	10.3		2,557	-8.3			184,553	3,779	7.2		6,029	3,524	19.8	
2015/01～03	42,313	3,770	9.7		3,439	-10.7			175,490	3,872	-15.8		6,579	4,577	10.3	
2015/04～06	30,668	2,966	-7.6		2,120	4.3			162,955	3,538	5.0		4,697	2,709	9.9	
2015/05	9,074	921	-11.3		599	-20.6			47,443	1,084	-2.2		1,502	826	12.1	
2015/06	11,756	1,150	-2.0		841	16.3			59,633	1,289	10.5		1,853	1,030	6.4	
2015/07	10,798	1,136	18.2		737	-1.5			57,059	1,227	-4.6		1,921	918	-7.6	
2015/01～2015/07	83,779	7,872	3.5		6,296	-5.1			395,504	8,637	-6.7		13,197	8,204	7.8	
2015/04～2015/07	41,466	4,102	-1.7		2,857	2.8			220,014	4,765	2.4		6,618	3,627	4.9	

生産	電気計測器				放射線測定器				環境計測機器			
	工業用計測制御機器				その他のPA計測							
	プロセス監視制御システム				測制御機器							
	数量	金額	前年比		金額	前年比			数量	金額	前年比	
2014(H26)暦年	3,140	15,169	-11.0		6,441	-13.5			124,196	8,559	-9.4	
2014(H26)年度	3,457	13,963	-14.1		5,813	-13.3			29,846	8,250	-1.3	
2014/07～09	1,165	4,287	-24.0		1,438	-14.6			4,634	2,344	16.2	
2014/10～12	718	2,512	-23.4		1,330	-8.1			3,610	1,392	15.5	
2015/01～03	1,230	4,134	-22.6		1,586	-28.4			18,487	3,645	-7.8	
2015/04～06	631	3,205	5.8		1,515	3.8			103,217	1,463	68.4	
2015/05	151	839	-24.8		465	2.0			27,856	493	26.1	
2015/06	374	1,500	-8.1		575	-16.1			36,270	493	70.6	
2015/07	253	1,086	6.3		611	111.4			31,572	356	-22.4	
2015/01～2015/07	2,114	8,425	-10.3		3,712	-6.3			153,276	5,464	3.4	
2015/04～2015/07	884	4,291	5.9		2,126	21.6			134,789	1,819	37.0	

注) 主要製品であっても2以下の事業所数又は企業数に係る製品は記載せず、秘匿の必要がある場合は「×」で示しています。

出典:「生産動態統計調査」(経済産業省) (<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>)

◆今号の表紙

滋賀県の坂本にある西教寺というお寺の紅葉です。坂本は明智光秀の居城があったところです。

モミジを撮りに京都へ行こうと思ったのですが、全てのエリアで三脚が使えないことが分かり、琵琶湖周辺に行くことにしました。

ユースホテルがある西教寺に泊まることにしたのですが、もともと宿坊のため、何十畳もある部屋に一人で寝ることになりました。

あとで分かったのですが、このお寺は明智光秀と縁が深く、延暦寺焼き討ちのあと、燃やされた寺の再建を援助したため当地での評価は高く、境内には光秀の供養塔があります。

初めて行った琵琶湖はとても広く、海と同じように利用されたのうなずけました。

西教寺の境内の紅葉も見事でしたが、近くの日吉大社の紅葉にも素晴らしいものがあります。さすが都の流れをくむ洗練されたモミジだけあって、どれを撮っても「絵」になる枝振りは飽きることがありません。

ぜひ訪れてみて下さい。

撮影地：滋賀県大津市坂本

使用機材：Canon EOS 5D MarkII

レンズ：EF70-200mm F4L IS USM

絞り：f11

シャッター速度：1/25秒

露出補正：なし

ISO感度：400

フィルタ：なし

写真：佐藤 健治

●JEMIMA会報

2015/Vol.52No.4 2015年10月23日発行

発行 一般社団法人日本電気計測器工業会（JEMIMA）

本部 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-15-12（計測会館）

電話03-3662-8184（広報・展示部） FAX03-3662-8180

関西支部 〒530-0047 大阪市北区西天満6-8-7（電子会館6階）

電話06-6316-1741 FAX06-6316-1751

編集事務局 広報・展示部

印刷 日本印刷株式会社

●JEMIMA会報への広告掲載申込およびJEMIMA会報送付先の変更・停止は、

info@jemima.or.jpまでご連絡お願いします。

●次回発行予定 2016年1月30日

●禁無断転載

**出展
募集中**
詳しくはWebをチェック!

計測展 2016 OSAKA

未来に、
鼓動する。

未来のものづくり社会を支える
計測・制御技術の総合展

**計測展
2016 OSAKA**

11/9(水)~11(金)

10:00~17:00

入場料: ¥1,000 (消費税込)
※事前登録者、招待券持参者および学生(登録の際、学生証提示)は無料

グランキューブ大阪(中之島・大阪国際会議場)

関西最大規模の計測と制御の総合展示会!
計測展 2016 OSAKAにぜひご出展ください!

■ **出展料**

- 1小間につき、
JEMIMA 会 員: 280,000円(税別)
一 般: 300,000円(税別)
公的機関・団体: 160,000円(税別)
- 出展料には、次のものが含まれます▶システム基礎パネル(バック・間仕切り)、
バッジ等配布物 ※公的機関・団体のお申込みは2コマまでとします。

■ **小間付帯サービス**

- ポスター(A1): 10枚
- 案内状/招待状/封筒: 1社300部+1小間×50部
- 入門証(出展会社証): 10個
- ステッカー(搬入・搬出車両証): 5枚

■ **パッケージブース**

- 基本的な設備がセットされたパッケージブースをご用意しています。

	基本プラン 1小間パッケージ	2小間パッケージ	3小間パッケージ
会員	420,000円(税別)	810,000円(税別)	1,190,000円(税別)
一般	450,000円(税別)	870,000円(税別)	1,280,000円(税別)

■ **テクニカルセミナー料金**

- 1セッション50分 130,000円(税別)
- 1セッション20分 70,000円(税別)
- ※セミナープログラムについては、出展者優先のうえ、来場者の利便性を考慮して、主催者側で決めさせていただきます。

出展をお考えの方、2015年11月2日(月)より申込を受付します。

出展に関する
お問い合わせは

計測展 2016 OSAKA 運営事務局(株式会社ツーサム)

〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町20番地

電話 075-823-2020 FAX 075-823-3659 E-mail: mcs2016@twosome-kyoto.com

主催: 一般社団法人 日本電気計測器工業会
Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

<http://jemima.osaka/>



計測展2015 TOKYO

計測と制御で創る未来の地球

東ホール「国際ロボット展」来場者は相互入場で無料

IoT/M2Mで世界を変える

第4次産業革命

2015年12月2日(水)～4日(金)

東京ビッグサイト西1・2・3・4ホール、アトリウム

開催時間／10:00～17:00 入場料／1,000円(事前登録者・招待券持参者無料)

展示会・セミナー
事前登録受付中

計測・制御関連の出展者セミナー
JEMIMA委員会セミナー(標準化、技術動向等の活動報告)等
約120セミナーを開催!!

●基調講演

【会場】会議棟 レセプションホールB

12月2日(水) 11:00～12:00

現場と経営・社会をつなぐ
モノづくりの革新
-日立が考える第4次産業革命-

講師

日立製作所
執行役員社長
情報・通信システムグループ長
兼情報・通信システム社長

齊藤 裕氏



●特別講演

【会場】会議棟 101会議室 / 会議棟 レセプションホールB

12月2日(水) 11:00～12:00 101会議室

政府のサイバーセキュリティ戦略について

講師

内閣官房
内閣サイバーセキュリティセンター
内閣参事官

藤田 清太郎氏



12月3日(木) 11:00～12:00 レセプションホールB

日本型ものづくり第4次産業革命
～日本産業復活のカギはIoT～

講師

東京大学大学院経済学研究科
ものづくり経営研究センター
特任研究員

吉川 良三氏



●特別セッション

【会場】会議棟 レセプションホールB

12月3日(木) 14:30～16:00

第4次産業革命で工場が変わる、社会が変わる

ご登壇者

1

法政大学
デザイン工学部
教授

西岡 靖之氏



2

未来調査研究所

坂口 孝則氏



3

武州工業
代表取締役

林 英夫氏



4

アシスタント
フリーアナウンサー

石原 愛美氏



12月4日(金) 11:00～12:00 レセプションホールB

「GEのインダストリアル・インターネット戦略」

講師

日本 GE
専務執行役員

田中 豊人氏



計測展2015 TOKYO <http://jemima.or.jp/tokyo/>

主催：[計測展2015 TOKYO] JEMIMA 一般社団法人 日本電気計測器工業会

[SCF2015] JEMA 一般社団法人 日本電機工業会

NECA 一般社団法人 日本電気制御機器工業会

同時開催：[2015 国際ロボット展] 相互入場

西ホール同時開催!

システムコントロールフェア
SCF 2015

技術がつながる。未来が拓ける。ものづくりイノベーション